



畝立て式乾田直播機 **UUNE** (ウーネ)

畝立て式直播が田植栽培と遜色ない収量を実現！



高水分土壌にも対応。 播種適期を逃しません！

九州沖縄農業研究センター様と共同開発した畝立て式乾田直播機「UUNE (ウーネ)」は、そろばん玉状のローラーを回転させ、その形を土に転写することで台形の畝を成型し、直播を行います。同時に畝天面に溝を掘り、播種することで、畝が乾燥や湿害から種子を守り、高い収量を実現！ 40馬力程の通常サイズトラクターで牽引して使用することが可能です。



生育中の圃場

除草対策はしっかり行っていく必要がありますが、湛水後の管理は慣行栽培と変わりません。条も揃っているため、コンバインでの刈取作業もスムーズです。



畝立て直播の4つのメリット

Point1

乾湿害への強い耐性

畝が乾湿害から種子を守り、田植栽培と遜色ない収量を実現します。

Point2

高水分土壌に負けない走破性

畦塗機と似た効果で、湿田や降雨後の圃場でも播種が可能です。

Point3

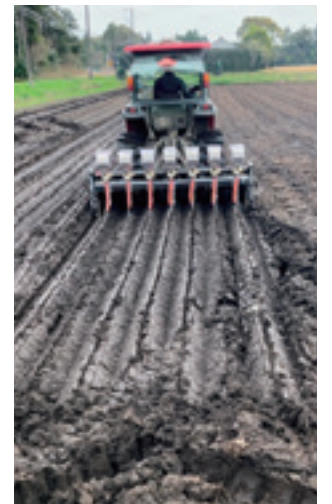
ジャンボタニシの食害回避

畝天面下に水位を保つことでタニシの移動を妨ぎ、食害を回避します。

Point4

漏水防止と雑草の抑制

固い畝が漏水を防止し、雑草もある程度抑制します。



乾燥状態から湿った土壌まで、幅広い条件で播種が可能です。

製 | 品 | 特 | 徴

畝立て式乾田直播機「UUNE (ウーネ)」は、少人数で効率的、天候に左右されない計画的播種を実現する強力なソリューションです。

🕒 時速4～5kmの高速播種

田植え機と比べ、大幅な省力化と時間短縮を実現します。

⚙️ マルチタスク

米の他、大豆、麦、トウモロコシなどの播種にも転用可能です。

🔧 中型トラクター対応

一般的なトラクター（40馬力程度～）に取付、牽引できます。

『2023年 農業技術10大ニュース』において、第2位に選出

■畝立て直播機仕様

全 幅	／ 2,420mm	適応トラクター	／ 40～51ps
作 業 幅	／ 2,100mm	標準作業速度	／ 4～5km/h
条 間	／ 300mm	入力軸回転速度	／ 405rpm*
条 数	／ 7条	繰 出 方 式	／ スライドロール方式
機体重量	／ 約500kg	ホッパー容量	／ L：10ℓ、S：5ℓ/条
装着装置	／ OS	※トラクターのエンジン回転数：1,800回転を想定。	

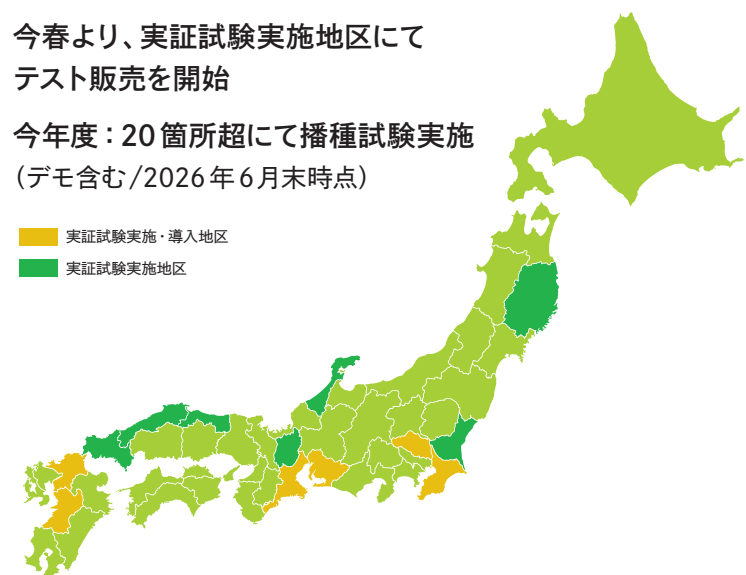
多様な
土壌に
対応



今春より、実証試験実施地区にて
テスト販売を開始

今年度：20箇所超にて播種試験実施
(デモ含む/2026年6月末時点)

■ 実証試験実施・導入地区
■ 実証試験実施地区



現在、デモ機による播種試験を全国各地で実施しております。
ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ

Q 播種量は調整できますか？

A 播種量はホッパー下にあるダイヤルを回して調整が可能です。左右にある接地輪により、走行速度に合わせた播種を行います。

Q 播種の深さは調整できますか？

A 播種部の取付位置およびトップリンクによる本体の傾きの調整で、播種深度は2~5cmの範囲で任意の調整が可能です。

Q 種子コーティングは必要ですか？

A 畝が種子の水没を回避するため、カルパーコーティング（酸素発生剤）などは不要です。鳥害予防のため忌避剤の塗布はお勧めしています。

Q 前処理作業は必要ですか？

A ロータリーによる耕うんを行います。土をほぐすことで畝の成形が容易となり、また、乾燥した土壌では、湿った土を表面に持ってくることで畝立ちが良くなります。

Q なぜジャンボタニシ対策になるのでしょうか？

A 播種後の水位を畝の天面より下、または天面から4cm以内程度に保つことで、タニシの移動を阻害することができ、食害を回避できます。

Q 雨の日は播種できますか？

A ホッパー及び種子繰出部は防水仕様ではありませんので、雨でホッパー内が濡れてしまうと、種子がホースの中で詰まり、播種できなくなることがあります。雨後の播種に対しては、高い走破性を発揮します。



農業を
もっと
カンタンに。

